

# 協奏的量子ビーム利用による 実用材料研究のススメ —新しいビームはいかがですか—

日時：2021年3月16日(火) 9:30 ~ 16:30 (予定)

近年では実用材料の物性や膜表面・界面に関するトピックに対し、量子ビームの協奏的利用により多角的な研究が行われています。本シンポジウムでは、大型施設を利用する量子ビーム実験に関して超伝導を始めとした実用材料の実験を通して、これまで利用したことがない人にもわかりやすく紹介して頂き、聴講者自身の研究に何が使えるかを見極める、または相談・議論するいい機会となれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。またアンケートを用意しておりますので、ご参加の皆様にはご協力をお願いします。

## ◆ 招待講演者 / 講演題目 (敬称略、仮題)

- |                |   |
|----------------|---|
| 長嶋 泰之 (東京理科大)  | 低速陽電子ビーム技術の新展開                                  |
| 山本 航平 (分子研)    | X線の時間構造を使った<br>スピンドイナミクスの研究                     |
| 雨宮 健太 (KEK物構研) | 偏極中性子反射率とX線磁気円二色性による<br>強磁性/反強磁性界面におけるねじれた磁化の観察 |
| 足立 匡 (上智大)     | 電子ドーピング型銅酸化物における<br>マルチ量子ビームで見るスピン相関と超伝導        |
| 高山 あかり (早稲田大)  | 陽電子と光子を用いた量子ビーム協奏利用による<br>原子層物質の構造・電子状態の解明      |
| 宮田 登 (CROSS)   | 中性子なら「もっと」見えます<br>~マルチプローブに向けた中性子利用~            |
| 幸田 章宏 (KEK物構研) | 大強度ミュオンを使った $\mu$ SR実験の新展開                      |
| 田中 秀和 (大阪大)    | 機能性薄膜合成と量子ビーム利用                                 |

【後援】日本放射光学会、日本中性子科学会、日本中間子科学会

【世話人】本田 孝志 (KEK物構研)・和達大樹 (兵庫県立大)・豊田智史 (東北大)

【連絡先】 [takhonda@post.kek.jp](mailto:takhonda@post.kek.jp)